

postoperative pain service : POPS (術後疼痛管理チーム) は、手術後にIV-PCA・EPIなど持続鎮痛を使用している患者さんに対して介入して、疼痛程度の把握、持続鎮痛薬の投与量調整、副作用発生時の対応のサポートを行っています。

麻酔科医師や特定行為研修や麻酔学会主催の研修を修了した看護師と薬剤師が主体となって活動しています。そのほかにも外科系の医師や病棟看護師もチームメンバーに加わっています。

術後疼痛ラウンド

平日10時頃より各病棟でラウンドを実施しています。
痛みの強さや吐き気や痒みなどの副作用の有無を確認させていただきます。



疼痛管理計画書を用いて痛みの状況を確認している様子

ラウンドは看護師と薬剤師で行っています

手術前に鎮痛方法についての説明を実施しています。



「痛みが気になる」「手術が終わってから気持ちが悪い」などの症状がある場合はPOPSまたは担当看護師にご相談ください

痛みの確認方法について

当院では痛みの程度を数字の「0」から「10」の11段階で確認しています。
ラウンドでは「安静にしている時」と「動いている時」の2種類の痛みの程度を数字で確認させていただきます

<全く痛くない> 0・1・2・3・4・5・6・7・8・9・10 <ものすごく痛い>